

# 便利なe-Taxで納付してみませんか

## ～ 電子納税の利用について ～

**e-Tax**は、自宅やオフィス等から申告・納税ができる便利なサービスです。



電子納税では、金融機関の窓口に出向くことなく、インターネット等を利用して国税を納付することができ、次の方法があります。

- ① 「**ダイレクト納付**」による電子納税
- ② インターネットバンキング等による電子納税（登録方式・入力方式）

1

### 「ダイレクト納付」による電子納税

#### こんなに便利です

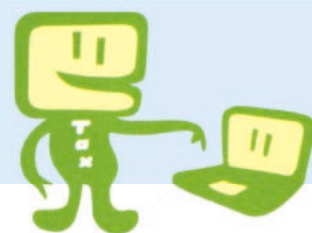
- ① インターネットバンキングの契約が不要。
- ② 即時または期日を指定して納付することが可能。
- ③ 税理士が納税者に代わって納付手続を行うことが可能。

電子申告等が可能な税目（源泉所得税、法人税、消費税及び地方消費税、申告所得税、酒税、印紙税）が対象となります。

※ e-Taxに納付情報データを登録すれば、上記の税目にかかわらず全税目でダイレクト納付が利用可能となります。  
納付情報データの登録方法については、e-Taxホームページでご確認ください。



事前に税務署に届出等をしておけば、e-Taxを利用して電子申告等をした後に、届出をした預貯金口座から、簡単なクリック操作で即時または期日を指定して納付することができる新たな納付手段です。



- ① ダイレクト納付を利用するためには、e-Taxの利用開始のための手続が必要となるほか、**ダイレクト納付利用届出書**を書面で提出する必要があります。
- ② ダイレクト納付が利用可能な金融機関については、国税庁ホームページでご確認ください。
- ③ ダイレクト納付利用届出書を提出してから利用可能となるまで、**1か月程度**かかります。
- ④ ダイレクト納付を行う際には、預貯金口座の残高をご確認ください。

※ 納付日の指定を行った場合は、指定した日の前日に預貯金口座の残高をご確認ください。

国 税 庁

ペイジーに対応した金融機関のインターネットバンキングやATM等を利用して国税の納付ができます。ご利用に当たっては、事前に金融機関とインターネットバンキング等に関する契約を行う必要があります(ATMご利用の場合は不要です。)。納付方法は、**登録方式**と**入力方式**の二つの方法があります。



### 【登録方式】

税目、課税期間、納付税額等の納付情報データをインターネットを通じてe-Taxに事前に登録し、登録した内容に対する「納付区分番号」を取得して、それを用いて納付する方法です。登録方式では、パソコンを使ってe-Taxに納付情報データの事前登録を行うことで、全税目について、利用することができます。

### 【入力方式】

事前に納付情報データの登録を行わず、利用者自身で納付情報に相当する番号(納付目的コード)を作成し、それを用いて納付する方法です。入力方式では、e-Taxへの納付情報データの事前登録を行う必要はありませんが、「申告所得税」、「法人税」、「消費税及び地方消費税」の3税目の納税に限定されます。

## 電子納税の利用手続きのご案内

e-Tax 開始届出書を税務署に提出

e-Taxソフトのインストール・初期登録

金融機関とインターネットバンキング契約

ダイレクト納付利用届出書を提出 ※1

「ダイレクト納付登録完了通知」がメッセージボックスへ格納 ※2

ダイレクト納付による  
電子納税を利用できます

インターネットバンキング  
等による電子納税を  
利用できます

※1 ダイレクト納付利用届出書を作成し、住所地等を所轄する税務署へ書面で提出してください。

※①ダイレクト納付利用届出書は、国税庁ホームページから入手できます。  
②利用可能金融機関については、国税庁ホームページでご確認ください。

※2 税務署と金融機関で登録手続きが完了すると、「ダイレクト納付登録完了通知」がメッセージボックスへ格納され、ダイレクト納付の利用が可能となります。

※ 利用届出書を提出してから利用可能となるまで、1か月程度かかります。

#### e-Taxの利用時間

月曜日から金曜日の午前8時30分から午後9時(祝日等を除きます。)までとなります。

なお、利用時間については、メンテナンス作業等により変更する場合がありますので、事前にe-Taxホームページ([www.e-tax.nta.go.jp](http://www.e-tax.nta.go.jp))でご確認ください。



詳しくはe-Taxホームページをご覧ください。  
**www.e-tax.nta.go.jp**